

令和7年度 第1回 浜松市立細江中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年6月5日（木） 13時30分から15時20分まで
- 2 開催場所 浜松市立細江中学校 会議室
- 3 出席委員 山本 浜雄、内山 有香、吉田 真譽、加茂 里佳、佐藤 憲孝、
山本 武志、船越 こず恵、太田 かおり、石田 潤司
- 4 欠席委員 白柳 恵美
- 5 学 校 遠藤 健司（校長）、岡田 充弘（教頭）、宮下 友樹（主幹教諭）、
足立 浩史郎（教諭）、金子 淳司（教諭）、野栗 絹世（事務）、
鈴木 小百合（CSディレクター）
- 6 教育委員会 山本 俊行（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 小百合
- 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、委員のみなさんから山本浜雄会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）令和7年度学校運営の基本方針について
細江中学校いじめ防止対策基本方針について
- （2）夢育やらまいか事業に対する意見書について
- （3）今後の活動について

11 会議記録

司会の山本浜雄会長から、委員総数10人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和7年度学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から令和7年度学校運営基本方針について再度説明があった（令和6年度第3回協議会で承認済み）。また、いじめに対する細江中学校の取り組みについても説明があり、委員からは以下の発言があった。

・嫌な自分の芽とは何か。思春期特有のことなのか。（山本武志委員）

→大人にも子供にもある、心に生じるマイナス感情のこと。それを外に出すといじめになるので芽のうちに何とかしよう、ということを考える授業を道徳で行った。（校長）

→子供たちは昔より優しいと思う。昔の方がひどいことを言うことがあったが、それを見ると今はいじめになるのだよね。（山本武志委員）

・定期的にいじめの会議があるとのことだが、いじめがないときは何をしているのか。

（内山委員）

→生徒の様子を話し合う会議を毎週1回している。いじめ以外のことも話し合う。（校長）

・細江中のいじめの現状について教えてほしい。（加茂委員）

→細江中の子は落ち着いて生活ができていると感じる。ただ、通常級にいても個別対応が必要な子が増えてきた。いじめの定義から、本人が辛いと感じた時点でいじめになるの

で、その定義に則って教員は対応していかななくてはならない。また、基本方針で地域や家庭との連携した対策を推進するとあるので、学校運営協議会でも一緒に考えてもらいたい。シャボテンは学期に1回行っている。アラートが上がっている生徒に対しては先生2名で聞き取りを行い、その後保護者に連絡するなどの対応をしている。友達との付き合い方、言葉の投げかけ方や受け取り方を学んで、学年が上がるごとに上手に人間関係を作れるようになってきていると感じる。丁寧な対応を心掛けている。(足立教諭)

- ・先生と生徒の関係はどうか。他校では褒めて頭をなでると体罰になった事案があるという記事を新聞で見たことがある。(山本浜雄会長)
- 基本的に生徒に触れない。ただ、生徒と先生も信頼関係を築くことが大事。(足立教諭)
- ・今の時代は生徒と先生の立場が逆転してしまうこともあると思う。(山本浜雄会長)
- ・やはり家庭教育が大事だと思う。(山本武志委員)
- ・突然起こった問題ではなく、小学生の頃から何かしらあったのだと思う。(内山委員)
- ・保護者の対応はどうやるのか。(山本浜雄会長)
- まず生徒と話をして事実確認をしてから保護者へ連絡し、保護者の許可をもらってから指導するようにしている。(足立教諭)
- ・学校の中のことは先生にお任せしますなどの委任状があると良いと思う。(佐藤委員)
- ・いじめ対応は本当に大変だと思う。(山本浜雄会長)
- ・今の子どもたちは対人コミュニケーションの機会が減っているということも問題が起きる原因としてあると思う。(佐藤委員)

(2) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

会長から別紙資料に基づき説明があり、委員から以下の発言があった。

- ・学校支援コーディネーターとして活動しているが、ホソトレが細江を好きな子どもたちにとって良い思い出として残ればすべてOKだと思う。地域貢献や社会貢献を大事にする時代なので、地域にある企業や行政などいろいろな人の力を借りると良いと思う。(佐藤委員)
- ・いまだにホソトレについて「それ何？」と聞かれることがあるので、ホソトレについてもっとたくさんの人たちに周知したい。そのための方法を考えたい。(内山委員)
- ・昨年行政センターで発表会があったが一部の人しか見られなかったのもっとフランクに地域の人たちに見てもらえる機会があると良いと思う。(内山委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(3) 今後の活動について

議長の指示により、金子教諭から別紙資料に基づきホソトレの活動について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・5月にアドバイザーとしてふるさと相談会へ行ったが、生徒たちは年々探究心が強くなっていると思う。生徒たちの楽しい発想を聞けるのでとても面白い。(山本浜雄会長)
- ・3月に開催された姫様道中で生徒たちが駄菓子屋を開いたが大盛況だった。市長や区長も駄菓子屋に来てくれた。(山本浜雄会長)
- ・姫様道中で子供たちが店をやれば親も祖父母も来るので、盛り上がってとても良いと思う。(佐藤委員)

- ・子供たちの提言を実現させたいとなったときに、それを受け入れてくれる大人の団体が地域にあると良いと思う。子供たちと色々な団体との関係を繋ぐお手伝いをしてほしい。教員ではない大人が支えて活動させてもらえると、子供たちの提言が実現しやすくなると思う。(校長)
- 学校運営協議会委員で協力できると良いと思う。(山本浜雄会長)

その他報告事項等

① 年間行事予定（スクールカレンダー参照）

主幹教諭より年間行事について説明があった。また、先月行われたふるさと相談会では昨年度より多くのアドバイザーに来ていただきました、と報告があった。

② 学校職員紹介（学校経営書参照）

校長より、今年度は発達支援学級が5学級に増え若い先生が多い、と説明があった。

③ 今後の学校運営協議会について

第2回 11/21（金）ホソフェス参観、協議

第3回 2/18（水）今年度の振り返り、来年度に向けて